



お産&子育てサポート

発行・編集
お産&子育てを支える会
代表: 齊藤 智 孝
編集者: 東 直 美
TEL 090-7103-2240



女性達が立ち上がった「女性の休日」運動

世界経済フォーラムが発表した 2025 年版のジェンダーギャップレポート (Global Gender Gap Report) によると、日本は 2023 年の 125 位から 7 位上昇し 118 位となったそうです。首相が女性となったのも影響したのでしょうか。ただ 146 カ国中の 118 位、G7 の中では最下位のままです。

ジェンダー指数は「経済、教育、健康、政治」の 4 分野における男女格差を国ごとに調査し、それぞれ指数 (スコア) を算出し、4 分野のスコアの平均値が総合スコア (男女格差指数) となり、そのスコアに基づきランキングを作成しているそうです。日本は教育と健康分野は問題無いのですが、経済と政治のスコアに差があり、それが総合スコアの順位に影響しているそうです。今回の衆議院選挙でどれだけの女性が立候補したのでしょうか? 各政党の女性候補者数で最も少なかった党が確か政権を握ったように思います。内閣閣僚も女性はたった 3 人です。ガラスの天井を破って初の女性首相となった高市氏が選んだ閣僚の女性数が 3 人では寂しいように思えました。経済界の重鎮も女性はほとんどいません。女性役員が増えてはいますがまだまだ少ないのが日本の現状です。



ジェンダーギャップ指数 1 位がアイスランド、2 位はフィンランド、3 位ノルウェーと例年通り北欧の国が占めています。うらやましいと思う女性が多いのではないですか?

しかし、北欧の国々も昔は女性が家事育児をし、社会で女性の地位が低かった時代があったのです。そして、その現状を打破しようと女性達が運動を始めたのです。アイスランドで 1975年10月24日に 9 割の女性が一齐に家事や仕事を休み、男女の賃金差や女性の政治進出の遅れに対する抗議をしたので



す。これによってアイスランドでは 1976 年に性別による賃金格差を禁止する法律が成立した。そこまで女性達を動かす原動力は何処にあったのか? 何だったのか? そして、その女性達の運動が現在のジェンダーギャップを縮め、世界に誇れる男女平等の国を作り上げたのだと思います。女性達が勝ち取ったともいえます。日本には「大和撫子」「3 歩下がって」「女のくせに」「でしゃばらない」などの言葉が有り、なかなかその縛りや価値観から抜け出せずにいます。世界が既存の価値観を壊し、ドンドン男女平等に向けて変化している流れに目を向け、日本もギャップを解消していきたいですね。

ノルウェーのドキュメンタリー映画
女性達の運動を映画化した
「女性の休日」が3月名古屋市のキ
ネマ・ノイで上映予定です。



赤ちゃんの不思議な能力

ニュースレター No.61 より

「赤ちゃんどう遊んであげたらいいのかわからないんです。」

「一日何回、何時間、遊んであげればいいんですか?」と聞かれたことがあります。3~4ヶ月の赤ちゃんのお母さんでした。母乳やミルクを飲んで寝てくれていた月齢を過ぎ3~4ヶ月になるとなかなか眠らずおきている時間が増えてきます。寝ない赤ちゃんの対応に困っての質問でした。そう思った経験のある方は結構いるのではないですか? 幼児を相手に遊ぶのとは違いますよね。「遊ぶ」と言うより「どう相手をする」と言う方が良いのかも知れませんが、赤ちゃんの持つ力を
知って、どう相手をしたら良いのかの参考にして下さい。



赤ちゃんの聴覚能力は・・・



胎児期にお腹の中でお母さんの言葉を聞いていた経験こそが、ヒトの聴覚判断に決定的な役割をはたすと考えられていました。しかし、聴覚障害者のお母さんから産まれた聴覚障害のない赤ちゃん、つまりお腹の中でお母さんの言葉を聞かずに産まれた、聴覚障害のない赤ちゃんも同じように音 (協和音) に反応したのです。結果、生後間もない赤ちゃん

が持つ聴覚能力は、特別な聴覚経験なしに、ヒトに備わっている知覚様式である事が近年解ってきました。

赤ちゃんが反応した協和音は人間の言葉の響きと似ているそうです。つまり、生まれたばかりの子どもにとって、協和的な音響特性を有する環境刺激として大切なものはヒトの発する音声言語であり、何が起ころうとも、その刺激を確実にキャッチして、認識する力があると言うことが解っています。





従来、胎児期に母親の声にいやおうなく「さらされる」ため、生まれた際に止むを得ずそれに選択的に注意を向けることを学習するのだと考えられてきましたが、赤かちゃんはいつも受け身で、環境からの情

報を入力されているばかりなのではないのです。赤ちゃんは学習することなく自ら主体的に、言語音を選び好みするメカニズムが与えられていると考えられます。生後間もない赤ちゃんにも語りかけは大切なんです。

赤ちゃんの言語発達は・・・

生まれてまもないころには、赤ちゃんが声をたてるといえば、ひたすら泣く声ばかりです。生後6～8週間もたつと彼らは「アー」とか「クー」とか響くりラックスした声を出しはじめます。生後4ヶ月も過ぎた頃に現れる「笑い声」が出てきます。それまでも赤ちゃんは笑いますが声は伴いません。それは新生児ののどは、笑い声がたてられないような構造をしているからです。声を出せるようなのどが形成されるまでに出生後4ヶ月を要するのです。生後6～8ヶ月の頃に「まんま」「ブーブー」等の喃語が出てき、その後、早いと1歳過ぎより言葉が出始めます。



言語発達に足や手の運動が関係？

一連の言語発達の中で赤ちゃんが「声をたてて笑う」という行動は、決してそれだけが単独で現れるわけではありません。赤ちゃんは下肢を何度も繰り返して蹴りながら笑うのです。赤ちゃんが笑う際の「声のたて方」は呼気の規則的で長い、連続反復運動を随意的に行う事で笑い声になります。その笑うという行為を、足蹴りをベースにして身につけていくそうです。最初のころは息を一気に吐きだしてしまうので乳児は長く笑えないのですが、足をバタつかせる事で、息を吐き続ける事を覚え、やがて1回の笑いの持続時間が延長していくのです。



空をリズムカルに足で蹴る運動は、生後5～6ヶ月にピークを迎えます。その後、今度は手を用いた反復動作が行われるようになってきます。すばやく動かすことのむずかしくない手をバタつかせながら、呼吸を断続的に吐き続ける事が出来るようになると、やが

て迅速に息を切れるようになっていくのです。そしてかなりのテンポアップしたところに、次いで真の意味での音声言語のもとになる発声、すなわち「ダ・ダ・ダ」とか「バ・バ・バ」といった喃語が口をつくようになってくるのだそうです。

おっぱいは言葉習得の本能行為？

つまり、言語音を出すために赤ちゃんはまず、笑うことを練習しているらしいのです。身体運動は単に"運動"にとどまらず、発語もまた"運動"する身体によってになわれ、初めて成立するものなのです。

赤ちゃんは色々なトレーニングを経て、言葉を喋れるようになるのですが、「練習をしないと言葉は出てこないから、練習が大事なのか」と言うところでもない。私達には言葉を習得するための非常に強い本能があり、実はその本能に基づいて練習をしているのです。」と京大霊長類研究所の正高信男助教授は言っています。そして、赤ちゃんが母乳を吸う時には連続して吸わずに、「吸っては休み、休みと自然と母親が揺する事で又吸い始める」を繰り返しながら飲みますが、それがコミュニケーションの原始的な形であり、言葉を習得するための本能的行動であるとも述べています。赤ちゃんは相手が何かしている時には待ち、相手が終わったら、自分が始めることを学習するそうです。



文献紹介：「0歳児が言葉を獲得するとき」「子どもはことばからで覚える」共に中央新書 正高信男著

特別な遊びでなく、あかちゃんの声に反応し、その声を真似て繰り返してあげたり、笑顔がみれたら笑顔を返してほめてあげたり、手足の動きを助けてあげたり、そんな関わりで充分なのかもしれないですね。



お産子の家の予定表

- 1日(日)8:00～太郎坊に登ろう会
 - 3日(火)10:30～マミーハウス
 - 13日(金)10:30～ベビーマッサージ
 - 14日(土)13:30～しあわせお産相談会
 - 17日(火)10:30～産後/13:00～産前セルフ整体
 - 21日(土)10:30～オーガズミックパース上映会
 - 21日(土)13:30～お産塾「お産に向けての話」
 - 24日(火)9:00～鍼灸の日
 - 27日(金)11:00～ヌヌの会
 - 28日(土)13:30～八幡ママパパ
- 「妊娠～出産～子育ての話」

双子ちゃんのお親御さん達の集まり会です！

3月



3月の【おっぱい塾】10:00～6日(金)お産子の家 授乳相談室
12日(木)八幡湖東信用金庫
26日(木)安土コミセン
31日(火)水口まるーむ

八幡・助産院月の小屋
3月8日(日) 11:00～15:00
子どもマルシェ
3月16日(月) 10:00～13:00
ごちゃ混ぜチャンプルーな居場所 猿の群れ

4月26日(日)
お産子マルシェ開催予定
湖東信用金庫の大きな駐車場で大々的に行いま～す
只今出店者募集中
お産子InstaにQRコード掲載予定
そちらからお申し込み下さい



